



きみかめ便り

～千葉県立君津亀山少年自然の家 所報～

2月号

まだまだ寒さが厳しい2月ですが、暦の上では春を迎えます。葉を落として寒々しい姿に見える木々も、よく見れば芽吹きをつぼみをたくさんつけて、じっと出番を待っています。空を見上げれば、ふっくら冬毛の鳥たちが気持ちよく飛んでいき、また夜には澄み渡った夜空に満天の星が見られることでしょう。

星座も美しいのですが、この時期は惑星同士の接近の観測もおススメです。金星と火星が接近している様子が夕方頃に肉眼で見られるので、気軽に楽しむことができます。これに月が加わると…さらに美しい光景に。

寒い寒いと室内に閉じこもらず、ぜひ暖かい格好で外へ出て、寒い季節ならではの自然の楽しみを見つけてみてください。
副所長 上地智子



冬の星空と月

ある日のきみかめ ～利用団体レポート～

2015年1月10日～12日

ベースボールスクール
ポルテ 千葉様

(宿泊：研修30名、引率5名)



食堂での様子

自らすすんで
隅々まで
テーブルをふく姿

研修内容 (2泊3日)

所外で強化練習 ⇒ きみかめで生活と夜の練習

年間を通じてきみかめを利用されている「ベースボールスクールポルテ千葉」の津覇(つは)先生とスクール生にお話を伺いました。(文：内田)

子どもたちに、どのような指導を大事にされていますか？

実は、「野球を上手くさせよう」と考えていません。むしろ野球を通じて「心に体力」をつけるようにしています。それがベースボールスクールポルテの理念です。努力する力、継続する力が養われた子どもは、仮にどんなスポーツであろうと上手くなりますし、私生活もしっかりして、勉強もできます。この合宿では、団体生活でしか味わえないことや、親元から離れ自分のことは自分で行うこと、甘えないで自立することを大事にしています。

幼稚園児や小学低学年も大勢いて、大変ではないですか？

まったく大変ではないです。というのも、小学校高学年のメンバーが、低学年・幼稚園の子たちに教えてくれるのです。教えてもらう子どもも、ただ受けるのではなく、教えてくれたことに感謝をします。そういうポルテの伝統があり、私たち指導員は子どものサポートをしているだけなのです。

津覇先生がいちばん嬉しいと感じる瞬間は？

こどもが、できなかったことが、できるようになったときですね。

子どもたちから一言(なんでも)

Aくん(小6)：年長からポルテに入り7年め。27回合宿に参加して、きみかめには20回くらい来ています。きみかめは整っていると感じます。学校のように生活も見直せます。中学に入ったら学校の部活(軟式)ではなく、高校と同じ「硬式」でできるポルテのシニア・ヤングに入って練習を続けます。だからまた、きみかめに来ます。将来の夢はプロ野球選手になることです。

Bくん(小6)：野球の面白さは「最後まで何が起こるか分からない」こと！

Cくん(小4)：今回は女子プロ野球の選手との簡易試合が楽しみです。

ほか：きみかめは、ごはんがおいしい！自然がいっぱい！二段ベッドに泊れるのが楽しみ(自分で上か下か選べる)！新しい友達ができる！

アクティビティ PICK UP!!

新規 野外炊飯メニュー

『ジャンボハンバーグづくり』



今月ご紹介するアクティビティは平成27年4月からスタートする「ジャンボハンバーグづくり」です。なんと、ドラム缶を使って作ります。置き火でじっくり焼いていくとじゅ〜と美味しそうな音が聞こえてきます。焼きあがったハンバーグ姿を見た子どもからは歓声が上がること間違いなしです！切った瞬間に、肉汁が溢れ出てきてボリューム満点です。「野外炊飯に新鮮さが欲しい」「何か目新しいものはないか」とお悩みの皆様はぜひこの機会にお試しください。



- 対象 小学生〜大人
- 人数 15〜100名程度迄
- 時間 4時間
- 費用 800円(予定)

(ミニサラダ、プリン、緑茶、お米 込み)

※お米は羽釜で自炊です

食堂に米の炊き上げを依頼することも可。

(別途料金)

(文 工藤)



お知らせ

☆H27年度の
ご予約

2月1日時点で

県内団体様は

来年2016年2月28日迄の期間、
県外団体様は10月31日迄の期間
ご予約いただけます。

ゴールデンウィークや夏季期間中は特に人気の日程です。ご利用をご検討中の団体様はお早めにどうぞ！HPの空室状況も随時更新しております。HPは「きみかめ」で検索！

☆食堂のテーブルが増えました

団体様からのご要望にお応えして、6人掛けのテーブルを2卓増設しました。全席で234名様までご利用いただけます！

☆地産地消への取り組み

きみかめ食堂で提供しているお米は、君津・木更津のお米です。その土地で収穫されたものをその土地で食べる。きみかめはこれからも地産地消の取り組みを大切にしています。

☆今後の主催予定

2月11日(水・祝日)

『たき火でおやつづくり』

2月21日(土)

『一日だけの、森の童話館』

君津市生涯学習課との共催

※詳細は担当音田(おんだ)まで。

(文：音田)

近隣フィールド紹介

☆ 鋸山 (のこぎりやま) と 日本寺 (にほんじ)

◇鋸山概要

富津市と鋸南町の境にある凝灰岩から成る標高329mの山です。山が鋸の歯のような形のため鋸山と呼ばれます。正式名称「乾坤山」(けんこんざん)。

江戸期には谷文晁が描いた「日本名山圖」で80の名山に数えられました。1964年深田久弥「日本百名山」からは惜しくも漏れました。「低山にも名山あり」と言った小林泰彦の「日本百低山」では取り上げられています。

「全てを觀賞するには2日を要する」といわれるほど、地質、動植物、石切り場跡、景観、日本寺と見どころにあふれています。

◇日本寺(有料)

「山頂展望台」、「地獄のぞき」を含む山頂一帯(33万㎡)が境内です。1300年前に聖武天皇の勅詔により建立された関東最古の勅願所です。弘法大師など多くの名僧が修行をしました。眺望(東京湾～伊豆大島、安房三名山)、切り立つ崖に彫られた百尊観音、世界第一の千五百羅漢、日本最大の大仏は迫力があります。惜しくも明治維新の排仏毀釈で、寺のすべての尊像が破壊されました。修復により首と胴体が繋がりましたが痕が残っています。首のない尊像が多いのは、かつての修復で金属を首に通して固定したが劣化して折れてしまったためだそうです。当時の名匠たちが生涯をかけ、心をこめて作った石仏が、時代の転換期、人の手によって壊され、また後世の手によって修繕されるも朽ちる様子が、「諸行無常にして一切空なり」という教え(羅漢エリアに掲示)と相まって心に深く入ってきます。

◇おすすめハイキングルート

新ルート「車力道」(しゃりきどう)がお勧めです。車力道は、山頂付近から切り出した石を木の台車に載せ、約2kmブレーキをかけながら降ろしていった道です。車輪の跡で道がそりあがっていて、石の重さや厳しい労が想像できます。その石の運搬をしたのはなんと女性だったそうです。海の青さが視界に入りはじめる、洞窟、石切り場まであとわずか。

地獄のぞきを下から見た後、「日本寺北口管理所」から入り、百尺観音～山頂展望台～二天門～百尊観音～千五百羅漢道～維摩屈～弘法大師護摩～大仏へ(弁当はこの広場がベストです。トンビ注意)

車・バスの迎えがあれば「東口管理所」隣接の駐車場(無料)での待機がおすすめです。徒歩なら、表参道管理所～保田駅へ(約40-50分)きみかめ迄の距離は約40km。所バス「きみかめ号」での送迎も大歓迎です。(文：内田)



切り出した石を運んだ「車力道」

スタッフリレー紹介

～きみかめスタッフが他のスタッフを紹介するコーナーです～

今月の人

◎今月紹介するスタッフは、副所長兼庶務課長の上地智子さんです。普段は温厚でやさしい方です。飼っている猫が大好きだそうです。きみかめでは、施設が円滑に運営できるように、設備のことはもちろん、アクティビティ指導もこなしてしまいう万能な方です。



かみちともこ
上地 智子(かみい)

大学院では自然科学研究科を専攻し、ビジュアルセンターでの活動経験もありますので、生き物や植物のこと、生態系についてとても詳しいです。この仕事に就いて10年以上のベテランであり、子どもたちとの接し方もとても上手です。

特に君津市の花、「ミツバツツジ」について研究していたうなので、その魅力について語らせたら右に出るものはいません。安易に聞くと、質問の10倍の答えが返ってくるのでご注意ください。

冗談はさておき、おもしろい生き物や植物を見つけたら是非、上地副所長に、色々聞いてみてください。詳しく教えてくれるかもしれません。

千葉県立君津島山少年自然の家

所報 2015年2月

292-0526 君津市笹字片倉1661-1

TEL: 0439-39-2628

FAX: 0439-39-2609

E-mail: info@kimikame.net

HP: <http://www.kimikame.net>

Facebook: <https://www.facebook.com/kimikamesizen>

Twitter: @kimikamesizen

「きみかめ」は千葉県自然学校グループが
県指定管理者として運営しています。



バックナ
ンバーも
ご覧いた
だけます!



紹介した人
しらい たける
白井 健